

た。広島校は広島市中区のANAクラウンプラザホテル広島で開催し写真、冒頭、村田大輔学長が「広島校では8年連続で合格者占有率ナンパーワンを達成した。受講生の皆さまの努力のたまもの。われわれも日本一の実績に甘んじることなく決意を新たにし、講師、職員一丸となり、まい進していく」とあいさつ。引き続き、林康文広島県建築士会副会長、河原直己広島県建築士事務所協会専務理事、ナンパーワンを達成、最も事、千原康弘日本建築家協会中国支部広島地域会長、岡河真広馬工科大学大学

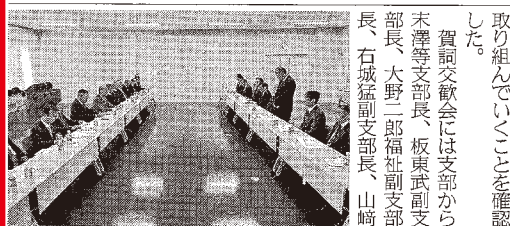
総合資格学院では講習システム、講座カリキュラム、教材などの強化・改訂を毎年行い、年間数十回に及ぶ講師研修を実施するなど、継続的な試験対策に取り組んできた。その結果、広島校は広島県での1級建築士合格者占有率が66・7％（合格者69人中、学院現役受講生46人）と8年連続でナンパーワンを達成、最も多くの1級建築士を輩出し続ける学校として建設業界の発展に寄与している。

熊本市 都市計画決定を告示

熊本市 熊本市 中九州横断、中九州横断、熊本市

2020年1月15日 日刊建設工業新聞

(福岡・大分・長崎・佐賀・熊本・鹿児島・沖縄会場)



本成長久氏が祝辞を述べ、合格者の努力をたたえ、ともに今後の活躍に期待を寄せた。

総合資格学院では講習システム、講座カリキュラム、教材などの強化・改訂を毎年行い、年間数十回に及ぶ講師研修を実施するなど、継続的な試験対策に取り組んできた。その結果、広島校は広島県での1級建築士合格者占有率が66・7％（合格者69人中、学院現役受講生46人）と8年連続でナンパーワンを達成、最も多くの1級建築士を輩出し続ける学校として建設業界の発展に寄与している。

積極果敢に
香川県建設協会（森田 紘一会長）は10日、高松市内のホテルで各支部、部会との合同新年会を開催し、来賓や会員約340人が出席して新年の門出を祝ったことにも、会員各社の一層の発展を祈念した。

森田会長は昨年の自然災害による甚大な被害の発生も重要な課題は「いかに業務の生産性を向上させていくか、また働き方改革をどのように具体的に進めていくかである」として、「支部としても整備局と情報交換、連携を重ねながら対応していく所存であるので指導をお願いする」とあいさ

四電工に決定
四国整備局徳島河川国道西山トンネル外照明設備工

四国地方整備局徳島河川国道事務所は2019年12月24日に一般競争入札を開札した「令和元年度西山トンネル外照明設備工」の落札者を1億3100万円で四電工に決定した。

工事内容はトンネル照明設備工、道路照明設備工。工事場所は徳島県三好市池田町西山ほか。工期は10月30日。

資格生かし飛躍を
総合資格学院 九州地区7県で合格祝賀会開く

総合資格学院（岸隆司学長）は13日、宮崎県を除く九州地区開校7県の2019年度合格祝賀会を開いた。各会場には1級建築士や2級建築士などの資格試験を突破した受講生、来賓らが出席。労をねぎらい健闘をたたえ合うとともに、資格を生かしたさらなる飛躍を誓い合った。

OB・OG交流会には約230人が出席。開会あいさつで天神校の三橋浩史学長は「資格取得までの道のりは一言では語れない日々であり、大変な苦もあつたと思うが、苦しいときは百折不懈（ひやくせつふたせ）の日々、頑張った試験勉強のことを思い出し、さまざまな困難を乗り越えていただければ」と激励した。

来賓祝辞で福岡県建築士会の柴田成文副会長は「今後も常に学習し、法律を守り、立派な建築士になって

いたきたい」、講師を代表して天神校の湯原洋史講師は「これからもどんどんチャレンジして建築を通じて明るい世の中を作ってほしい」とエールを送った。

修了証の授与後、合格者を代表して1級建築士試験に合格した釜我勇志氏は「資格に甘んじることなく仕事にまい進していきたい」と謝辞を述べた。その後、乾杯し和やかな雰囲気

19年度の1級建築士試験では福岡県内の学科・設計製図試験を1年で合格したストリート合格者の69・5％を同学院の同年受講生が占めた。また、宮崎県を除く九州・沖縄7県のストリート合格者の61・5％が同学院の同年受講生だった。

発注情報

●工事 ①委託業務②件名③発注日④発注日⑤発注場所⑥工事内容⑦工期⑧備考⑨電荷格

●工事 ①委託業務②件名③発注日④発注日⑤発注場所⑥工事内容⑦工期⑧備考⑨電荷格

●工事 ①委託業務②件名③発注日④発注日⑤発注場所⑥工事内容⑦工期⑧備考⑨電荷格



福岡会場



大分校



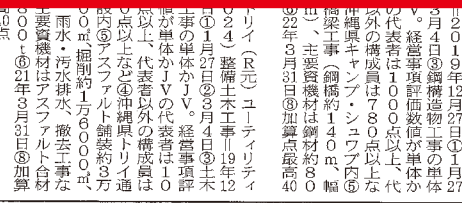
佐賀校



長崎校



熊本校



鹿児島校



沖縄校